

# 学科試験問題

令和1年 7月 7日  
八代ドライビングスクール

## 令和1年度（第33回）フォークリフト運転競技熊本県大会試験問題

解答用紙に正しいと思うものについては解答欄の正を、誤っていると思うものについては解答欄の誤を塗りつぶして下さい。

### 関係法令10問

- 1 運転中フォークリフト又はその荷に接触することにより労働者に危険が生ずるおそれのある箇所に労働者を立ち入らせないこと。ただし、誘導者を配置し、その者にフォークリフトを誘導させるときは、この限りではない。
- 2 フォークリフトについて誘導者を置くときは、誘導者が決めた一定の合図を定め、誘導者に合図を行わせること。
- 3 最大荷重1トン以上のフォークリフトの運転の業務には、特別教育修了者を就かせること。
- 4 フォークリフトの乗車席以外の箇所には、たとえ、墜落による労働者の危険を防止するための措置を講じた場合でも、労働者を乗せてはならない。
- 5 フォークリフトは前照灯及び後照灯を備えたものでなければ使用しないこと。ただし、作業を安全に行うため必要な照度が保持されている場所においては、この限りではない。
- 6 荷役運搬の作業に使用するパレット又はスキッドについては、損傷、変形又は腐食があっても、積載する荷の重量に応じた十分な強度を有していれば使用してもよい。
- 7 フォークリフトについては、1ヶ月を超えない期間ごとに1回定期的に、次の事項について自主検査を行わなければならない。①制動装置、クラッチ及び操縦装置の異常の有無 ②荷役装置及び油圧装置の異常の有無 ③ヘッドガード及びバックレストの異常の有無
- 8 フォークリフトについては、1ヶ月を超えない期間ごとに1回定期に行う自主検査を行ったときは、定期自主検査を行った年月を明らかにすることができる検査標章を貼りつけること。
- 9 事業者はフォークリフト（最高速度が毎時15キロメートル以下のものを除く）を用いて作業を行うときは、あらかじめ、当該作業に係る場所の地形、地盤の状態等に応じた適正な制限速度を定め、それにより作業を行わなければならない。
- 10 ヘッドガードの強度はフォークリフトの最大荷重の2倍の値（その値が3トンを超えるものにあつては、3トン）の等分布静荷重に耐えるものであること。

# 学科試験問題

令和1年 7月 7日  
八代ドライビングスクール

## 令和1年度（第33回）フォークリフト運転競技熊本県大会試験問題

解答用紙に正しいと思うものについては解答欄の正を、誤っていると思うものについては解答欄の誤を塗りつぶして下さい。

### 走行に関する装置の構造・取扱いの方法10問

- 11 ブレーキの倍力装置には、3種類ある。
- 12 ニューマチック形クッションタイヤは定期的に空気圧を点検し、指定された空気圧を保つことにより長持ちさせることができる。
- 13 1輪操向車の操向装置には、複動式油圧シリンダが使われている。
- 14 トルクコンバータの性質として、タービンの回転がエンジンの回転より低くなると、トルク（回転力）が増加する。
- 15 エンジン式フォークリフトの動力は、エンジン→クラッチ→トランスミッション→ドライブシャフト→ディファレンシャル→プロペラシャフト→ホイールの順に伝達される。
- 16 摩擦クラッチのスプリング式とはカムとリンクを使用したものである。
- 17 1輪駆動車はディファレンシャルが不要である。
- 18 負荷時前車軸には、荷重と車体重量のほぼ75%位の荷重がかかるため丈夫な構造体となっている。
- 19 トルクコンバータのステータはタービンに流れ込んだオイルを再びポンプに戻す働きをしている。
- 20 バッテリー式フォークリフトの動力伝達装置は、2輪駆動の場合と、1輪駆動の場合では異なる。

# 学科試験問題

令和 1年 7月 7日  
八代ドライビングスクール

## 令和 1年度（第33回）フォークリフト運転競技熊本県大会試験問題

解答用紙に正しいと思うものについては解答欄の正を、誤っていると思うものについては解答欄の誤を塗りつぶして下さい。

### 荷役に関する装置の構造・取扱いの方法20問

- 21 作動油に必要な要素として、消泡性、防錆性及び適当な粘度があることがあげられる。
- 22 ブロック積付けは、一般に荷割れしにくい。
- 23 油圧ポンプの作動油の吐出量は、油圧ポンプの回転速度に反比例する。
- 24 リフトチェーンは、安全係数5以上と規定されている。
- 25 流動制御弁は、油圧回路中の圧力を調節する働きがある。
- 26 フォークの静的強度の安全係数は5以上と規定されている。
- 27 片面使用形パレットは、デッキボードが上面だけにあるパレットである。
- 28 つり上げ装置を取り付けたフォークリフトでもフォークリフトとして扱われる。
- 29 フローコントロールバルブは、荷動の大小にかかわらず、フォークの上昇速度を一定速度以上に上がらないように制限する働きをする。
- 30 アタッチメントのスプレッドには、トップリフト式とサイドリフト式がある。
- 31 油圧シリンダは、流体エネルギーを機械的にエネルギーに変える装置である。
- 32 セーフティダウンバルブは、両側のリフトシリンダボトムに装着してある安全装置である。
- 33 方向制御弁には、流量を調整する役目もある。
- 34 複動形油圧シリンダは、ピストンの両側に交互に油圧をかけることができ、ロッドの押し出し引き込みの両方向に力を出すことができる。フォークリフトではリフトシリンダに使われている。
- 35 作動油タンクは、油圧装置で使用する作動油を貯めておくものであるが、作動油を冷却する働きもある。
- 36 フォークリフト構造規格でいう安全弁は、圧力制御弁のことを指す。
- 37 リーチフォークリフトでは、フォークの収縮・伸張を行うため、油圧モータが装備されている。
- 38 ギアポンプは、ケースの中でドライブギアとドリブンギアという2つの歯車がかみ合って回転する構造である。
- 39 フォークは、リフトシリンダが20cm上昇すると、その2倍の40cm上昇する。
- 40 ギアモータは、圧力油を押し込むと作動油が歯車の歯をケースの外面に沿って押し、歯車を回転させる。

# 学科試験問題

令和1年 7月 7日  
八代ドライビングスクール

## 令和1年度（第33回）フォークリフト運転競技熊本県大会試験問題

解答用紙に正しいと思うものについては解答欄の正を、誤っていると思うものについては解答欄の誤を塗りつぶして下さい。

### 運転に必要な力学10問

- 41 力は必ず「方向」「大きさ」「作用点」という3つの要素を持っており、これを「力の三要素」という。
- 42 物体に二つ以上の力が作用している場合、この二つ以上の力をこれらと同じ効果をもつ力に置き換える事を合力といい、この置き換えられた力を、その物体に作用した二つ以上の力を「合成」という。
- 43 力の作用線は次のようにして表すことができる。  
①方向…矢の長さ ②大きさ…矢の根本 ③作用点…矢の向き
- 44 質量とは物質そのものの量を表すもので、場所によって変わらずキログラム (kg) やトン (t) という単位で表す。
- 45 物体の質量は、大きさ (体積) が同じであれば、材質 (密度) が違ってても質量は変わらない。
- 46 ある物体が運動すると、基準になる他の物体に対して速さと向きが生じる。この運動の速さと向きを示す量を変位という。
- 47 加速度には、次第に速度を増していく正 (+) の加速度と、次第に速度を減らしていく負 (-) の加速度がある。
- 48 円運動をしているときに外側へ飛び出そうとする力を「遠心力」という。また、「遠心力」と同じ大きさであるが、手で支えている内側に働く力を「慣性力」という。
- 49 摩擦力は、接触する2つの面の圧着力と摩擦係数のみに関係し、接触する面積には関係なく、物体の接触面に作用する垂直抗力に比例する。
- 50 繰り返し荷重とは、荷重の大きさは一定であるが、荷重の方向が時間によって変化し、繰り返し作用する荷重である。

### 第33回熊本県フオークリフト運転競技大会学科競技回答

問 1	問 2	問 3	問 4	問 5	問 6	問 7	問 8	問 9	問 10	問 11	問 12	問 13	問 14	問 15	問 16	問 17	問 18	問 19	問 20
正	誤	誤	誤	正	誤	正	誤	誤	誤	正	誤	誤	正	誤	誤	正	誤	正	正

問 21	問 22	問 23	問 24	問 25	問 26	問 27	問 28	問 29	問 30	問 31	問 32	問 33	問 34	問 35	問 36	問 37	問 38	問 39	問 40
正	誤	誤	正	誤	誤	誤	正	誤	正	正	誤	正	誤	正	誤	誤	正	正	誤

問 41	問 42	問 43	問 44	問 45	問 46	問 47	問 48	問 49	問 50
正	誤	誤	正	誤	誤	正	誤	正	誤